

会員数 37,934 (前月比) + 155

郵送 9,304 (前月比) + 293

手配り 26,224 (前月比) + 55

協同基金到達額 2,529,038,000円(11/30現在)

[前月比 18,314,000減]

協同基金出資者数 16,300名(11/30現在)

いのちを守る助け合い募金額 41,385円(11/1~30)



2018

1

No.412

発行

健康友の会 みみはら

本部事務局組織部
機関紙編集委員会

〒590-0821

堺市堺区大仙西町6丁184-2

Tel.072-244-8061

Fax.072-244-7860

1部 30円

謹賀新年
2018

住みつけたい まちづくりへ 確信をもって



健康友の会みみはら

会長 森島 嘉之



新年あけましておめでとうございます。

1%の富裕層を99%の非富裕層が支える社会にあって、貧困と格差の拡大のかで喘いでいる99%の声が、いま大きくなりつつあることは希望です。この世の不条理は人間がつくりだしたものである以上、かな

らう変えることができま
す。

希望を壊してしまった「希望ある国」と言つても空しい限りですが、私たちが求める希望の芽は、着実にふくらみを増していることに確信をもつて、住み続けたいまちづくりに力を注ぎます。

新年あけましておめでた
い事なことは、自衛隊を憲法に明記させない
ことです。集団的自衛権行使を可能にした政権が公然と「軍隊」を支配すれば、

健康、平和、助け合いの活動をぜひごいっしょに

新年あけましておめでとうございます。健康友の会みみはらでは、同仁会のパートナーとして、各支部で「健康づくり」のために、「健診受診」の推進や健康づくりのための班活動が活動において、地域での助け合い活動や平和や社会保障の充実を求める活動もおこなっています。

そうした活動の中で、新たに1471人(11月末現在)が会員となり、大浜南支部が誕生し、支部は堺市・高石市・和泉市に25部、たまり場・センターは17力所となりました。

今年も健康・平和・まち安心して住み続けられることを、地域で安心して住み続けながら、地域で安心して住み続けら

9条へこそこのちと健康を守るところで

聴診器

幹線車窓の樂しみから。大阪京都間は天王山の大山寺塔。滋賀県の山莊美術館と

もはや「災害救助隊」ぢにろではなくてしまいます。自衛隊員のいのちを尊重するなら、「軍隊」にしてはいけない。この声を大いに叫びます。生命の安全と健康を破壊するもの、それ

は養老山地に沿う。合戦の前哨戦地杭瀬川、続い

て揖斐、長良、木曽の木曽三川を渡る▼名古屋駅を出ると間もなく中川運河東支線、左手奥に重松閘門尖塔が立つ。静岡では引き潮時に入つての漁が見える浜名湖、ここの左についてくる。安

倍川の手前では新幹線が真北を向くため右手富士橋が現れる。富士川の長い水管橋、美しい10連続アーチに見えた途端富士山が現れる。東名高速の橋桁が見えるあたりが遮るものがなく一番綺麗

と近江富士の三上山、秀次の八幡山、三成の和田山と続く。米原周辺の畠には円形の小山がボツリボツリ、古墳みたいに見える。関ヶ原古戦場の先



びっくりを目指して活動してまいります。皆様のご協力をよろしくお願いします。また、ご自宅周辺を配っていただき、機関紙「とも」の配達者や支部の世話人さんを募集しています。ぜひ事務局まで問い合わせください。

(健康友の会みみはら
事務局)

改定に向けて策をめぐらしている、改定の発議本がある。政府と与党は憲法をさせないぞ。年明けは新幹線車窓の樂しみから。大阪京都間は天王山の大山寺塔。滋賀県の山莊美術館と

(斎藤和)